

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 5件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
①	一般国道329号 <small>キン</small> 金武バイパス <small>キンテョウ</small> (金武町)	平成3年度 152億円	<p>事業区間: 沖縄県国頭郡金武町字金武中川 ~ 国頭郡金武町字金武渡慶頭原</p> <p>延長 : 5.6km</p> <p>事業進捗率: 約82%</p> <p>金武町字金武源原~金武島兼原 L=2.6km(2/2) 平成27年度 供用予定</p>	事業継続	<p>金武バイパスは、急カーブや急勾配があるとともに渋滞の発生する現道(国道329号)をバイパスすることで、交通安全の確保、朝夕の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p><b>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】</b> P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、<u>本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。</u>また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.2・残事業2.4</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 5件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
②	一般国道58号 読谷道路 (読谷村)	平成13年度 620億円	事業区間: 沖縄県中頭郡読谷村親志 ~ 中頭郡読谷村古堅  延長 : 6.0km  事業進捗率: 約26%  読谷村座喜味~読谷村喜名 L=1.5km(2/4) 平成25年4月18日供用済み	事業継続	<p>読谷道路は、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、読谷村、嘉手納町の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】            P57 第3章 基本施策            3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して            (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備            ウ 陸上交通基盤の整備            陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体3.2・残事業3.6</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 5件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
③	トミグスク 一般国道331号 豊見城道路 トミグスクン イトマンシ (豊見城市、糸満市)	平成元年度 405億円	事業区間: 沖縄県豊見城市瀬長 ~ 糸満市西崎 延長 : 4.0km 事業進捗率: 約93% 豊見城市瀬長~糸満市西崎 L=4.0km(4/4) 平成27年度 供用予定	事業継続	<p>豊見城道路は、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、那覇都市圏の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備 陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体3.6・残事業8.1</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 5件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
④	一般国道331号 <small>イトマン</small> 糸満道路 (糸満市)	平成2年度 505億円	事業区間:沖縄県糸満市西崎 ~ 糸満市真栄里 延長 :3.4km 事業進捗率:約87%  糸満市西崎~糸満市糸満 L=1.6km(4/4) 平成28年度 供用予定	事業継続	<p>糸満道路は、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、那覇都市圏の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備 陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、那覇空港自動車道の完成供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハシゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.5・残事業2.8</p>

1. 直轄事業(沖縄総合事務局)  
(道路) 5件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興推進の視点からの評価
⑤	一般国道506号 <small>トミグスクヒガン</small> 豊見城東道路 <small>トミグスクン ハエバルチョウ</small> (豊見城市、南風原町)	平成3年度 1,230億円	<p>事業区間: 沖縄県豊見城市名嘉地 ~ 島尻郡南風原町山川</p> <p>延長 : 6.2km</p> <p>事業進捗率: 約93%</p> <p>豊見城IC~南風原南IC L=3.5km(4/4) 平成25年度 供用予定</p> <p>豊見城・名嘉地IC~豊見城IC L=2.7km(4/4) 平成26年度 供用予定</p>	事業継続	<p>豊見城東道路は、那覇港、那覇空港等へのアクセス性向上、那覇都市圏の交通混雑の緩和等に寄与する事業であり、これは沖縄21世紀ビジョン基本計画の「陸上交通基盤の整備」の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P57 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>陸上交通は、県民生活や観光客の利便性の向上及び産業の発展に密接に関わっていることから、高速性、定時性、安全性の確保に加え、広域交流拠点と各圏域拠点間のアクセスの改善、公共交通機関の整備等、多様なニーズに対応した質的充実を図ります。</p> <p>このため、道路の整備については、<u>那覇空港自動車道の完成</u>供用及び読谷村から糸満市に至る沖縄西海岸道路の全線の早期完成に向けた整備を促進するとともに、南部東道路等の幹線道路の整備を引き続き推進し、本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶ幹線道路網(ハンゴ道路ネットワーク)の構築を図ります。また、那覇都市圏の交通の円滑化を図るため、環状道路等の整備を推進します。あわせて、道路利用者の利便性や快適性の向上を図るため、情報通信技術の活用等による交通の円滑化や沿道環境及び景観に配慮した道路整備等を推進します。</p> <p>(参考)国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体1.5・残事業4.3</p>

再評価を実施した事業

1. 直轄事業（沖縄総合事務局）

（港湾） 1件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑥	<p>ナハコウ ウラソエ トウチク リンコウドウロ セイビ ジ 那覇港浦添ふ頭地区臨港道路整備事業 キョウ ウラソエシ (浦添市)</p>	<p>平成17年度 210億円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 那覇港浦添ふ頭地区</li> <li>・主な事業概要 臨港道路 延長 約2.5 km 緑地 面積 約2.3 ha 都市機能用地 面積 約9.6 ha</li> <li>・事業の進捗状況 平成25年度末進捗率；約85% 計画通り進捗している。</li> </ul>	<p>平成26年度に概成予定。 ※関連道路との整備状況を踏まえて供用する予定。</p>	<p>臨港道路浦添線は、沖縄の拠点港である那覇港から発生する港湾貨物を、本島中北部方面への輸送を円滑にすることで物流機能の強化を図り、圏域の経済及び産業活動を支援するために整備するものであり、これは「臨港道路の整備を推進する」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画『自立型経済の構築に向けた基盤の整備』の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 第3章 基本施策 3 希望と活力にあふれる豊かな島を目指して (1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備 P56 イ 人流・物流を支える港湾の整備 「(略)那覇港については、那覇空港やふ頭間等とを結ぶ臨港道路の整備、防波堤や耐震岸壁などの港湾施設の整備を推進します。(略)」 (2) 世界水準の観光リゾート地の形成 P60 ウ 観光客の受入体制の整備 「(略)観光地巡りに不可欠な陸上交通基盤については、広域交流拠点である那覇空港及び那覇港と各圏域拠点都市の結節性を向上させるため、(略)沖縄西海岸道路、(略)臨港道路、沖縄都市モノレール延長等の整備を推進します。(略)」</p> <p>(参考) 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領に基づき沖縄総合事務局が行った費用対効果分析結果は、事業全体3.1・残事業13.9</p>

## 2. 補助事業（沖縄県）

(水道) 4件

番号	事業名	採択年度 総事業費	事業概要	今後の対応	沖縄振興計画推進の視点からの評価
⑦	沖縄市水道施設整備事業 (沖縄市)	平成12年 118億円	<p>【主な整備事業内容】 送水施設 送水管：L＝1,455m 配水施設 配水池 電気計装設備：2か所 配水池：V＝5,000m<sup>3</sup> 配水ポンプ：6台 配水管：L＝207,903m 耐震貯水槽：100m<sup>3</sup></p> <p>【工期】 平成12年度～平成35年度</p> <p>【進捗率】 24.3% 今後、配水管布設等の大規模工事を予定しているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	配水管や配水ポンプ場等の整備を促進し、平成35年度事業完了を図る。	<p>沖縄市水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池及び配水管等を整備するものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p> <p>【(参考) 厚労省が実施する評価におけるB/C】 ○全体：1.78 ○残事業：1.55</p>
⑧	チャタンチョウ 北谷町水道施設整備事業 チャタンチョウ (北谷町)	平成16年 17億円	<p>【主な整備事業内容】 配水施設 配水管：L＝44,148m 配水池：V＝1,400m<sup>3</sup></p> <p>【工期】 平成16年度～平成33年度</p> <p>【進捗率】 47.5% 今後、配水池建設等の大規模工事を予定しているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	配水管等の整備を促進し、平成33年度事業完了を図る。	<p>北谷町水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池及び配水管等を整備するものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】 P51 第3章 基本施策 2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</p> <p>【(参考) 厚労省が実施する評価におけるB/C】 ○全体：1.77 ○残事業：2.76</p>

⑨	南部水道企業団水道施設整備事業 <small>ハエバルチヨウ ヤエセチヨウ</small> (南風原町、八重瀬町)	平成14年 49億円	<p>【主な整備事業内容】          送水施設 送水管：L＝7,022m          配水施設 配水管：L＝102,575m          配水池：V＝6,910m<sup>3</sup>(4池)</p> <p>【工期】          平成14年度～平成35年度</p> <p>【進捗率】 55.5%          計画通り進捗している。</p>	配水管等の整備を促進し、平成35年度の事業完了を図る。	<p>南部水道企業団水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する配水池及び配水管等を整備するものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】          P51 第3章 基本施策          2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して          (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化          ア 地域特性の応じた生活基盤の整備  <u>「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</u></p> <p>【(参考) 厚労省が実施する評価におけるB/C】          ○全体：4.94          ○残事業：4.30</p>
⑩	名護市水道施設整備事業 (名護市)	平成15年 64億円	<p>【主な整備事業内容】          取水施設 取水ポンプ設備：ポンプ1台          導水施設 導水管：L＝349m          浄水施設 浄水場：Q＝6,000m<sup>3</sup>          送水施設 送水管：L＝2,563m          送水ポンプ：4台          浄水場等 電気設備：2か所          配水施設 配水管：L＝95,441m          配水池：V＝3,000m<sup>3</sup>          "：V＝1,600m<sup>3</sup>          計装設備：10基</p> <p>【工期】          平成15年度～平成30年度</p> <p>【進捗率】 47.5%          今後、配水池建設等の大規模工事を予定しているため、上記進捗率となっているが、計画通り進捗している。</p>	浄水場、配水池及び配水管等の整備を促進し、平成30年度事業完了を図る。	<p>名護市水道施設整備事業は、水道水の安全かつ安定的な供給を図るため、老朽管の更新や区画整理事業等に伴い増加する水需要に対応する取水施設、導水管、浄水場、送水管、配水池及び配水管等を整備するものである。</p> <p>また、当該整備は、「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」とされている沖縄21世紀ビジョン基本計画の趣旨にかなうものである。</p> <p>よって、沖縄振興の着実な推進を図るために、本事業を継続することは適当である。</p> <p>【沖縄21世紀ビジョン基本計画】          P51 第3章 基本施策          2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して          (6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化          ア 地域特性の応じた生活基盤の整備  <u>「上水道施設の整備については、今後の水需要や水質の安全性を確保するための水道施設等を整備するとともに、老朽化した水道施設の計画的な更新、耐震化等を推進します。」</u></p> <p>【(参考) 厚労省が実施する評価におけるB/C】          ○全体：3.63          ○残事業：4.99</p>